

信州大学医学部附属病院 消化器内科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2018年 10月 2日

「自己免疫性膵炎に合併した炎症性膵嚢胞症例の全国調査」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	4171	
研究課題名	自己免疫性膵炎に合併した炎症性膵嚢胞症例の全国調査	
所属(診療科等)	消化器内科	
研究責任者(職名)	渡邊貴之(助教)	
研究実施期間	2018年10月2日～2022年3月31日	
研究の意義、目的	自己免疫性膵炎に合併する炎症性膵嚢胞症例の実態を明らかにすることを目的とした研究で、その治療方針提唱に貢献すると考えられます。	
対象となる患者さん	1989年4月1日から2018年6月30日の期間に当院で自己免疫性膵炎に炎症性膵嚢胞を合併された方	
利用する診療記録/検体	登録施設名、施設におけるAIP症例数、AIPの発症年齢、初発症状、ACF発症時期、血清IgG4値(初発時、ACF発症時)、ACF発症時の膵酵素値の変動、大量飲酒歴、糖尿病合併の有無、AIP膵外病変の有無、動静脈瘤合併の有無、造影CTによる膵周囲動静脈閉塞、圧排所見の有無、治療内容、ステロイド治療の有無と効果判定、ACFの発生部位、大きさと個数、膵管閉塞の有無、膵腫大の有無、十二指腸乳頭部の有無、ACF治療後の経過。	
他機関への試料・情報の提供方法	データはアンケート調査表に転記し、mail等でデータセンターに送付します。	
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、自己免疫性膵炎に合併した炎症性膵嚢胞と各種所見との関係性の有無について検討します。	
共同研究機関名	東京医科大学 消化器内科	糸井 隆夫
	金沢大学医学部 放射線科	井上 大
	慶応大学医学部 内科	岩崎 栄典
	福岡大学筑紫病院 消化器内科	植木 敏晴
	関西医科大学 内科学第三講座	岡崎 和一
	大阪医科大学 消化器内科	小倉 健

	手稲溪仁会病院 消化器病センター	瀧沼 朗生
	都立駒込病院 内科	神澤 輝実
	神戸大学医学部 消化器内科	児玉 裕三
	京都府立医科大学 消化器内科	阪上 順一
	東京女子医科大学 消化器内科	清水 京子
	横浜市立大学 内視鏡センター	高柳 卓矢
	帝京大学医学部 内科	田中 篤
	東京大学医学部 消化器内科	多田 稔
	名古屋市立大学医学部 消化器・代謝内科	内藤 格
	東京女子医科大学八千代医療センター 消化器内科	西野 隆義
	倉敷中央病院 病理部	能登原 憲司
	JA 広島厚生連尾道総合病院 内視鏡センター	花田 敬士
	東京高輪病院 消化器内科	平野 賢治
	名古屋大学医学部 消化器内科	廣岡 芳樹
	東北大学医学部 消化器内科	正宗 淳
	静岡県立がんセンター 内視鏡部	松林 宏之
研究代表者	主任施設の名称: 関西医科大学内科学 第三講座 研究責任者: 岡崎 和一	
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 渡邊 貴之(消化器内科・助教) 電話: 0263-37-2634	

既存の診療記録や検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

利用する情報からは、患者様を直接特定できる個人情報削除し、主任施設である横浜市立大学に提供します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。